

# 既存アンケート調査結果

過去行ったアンケート調査により、交通体系整備に関するニーズ等を整理する。

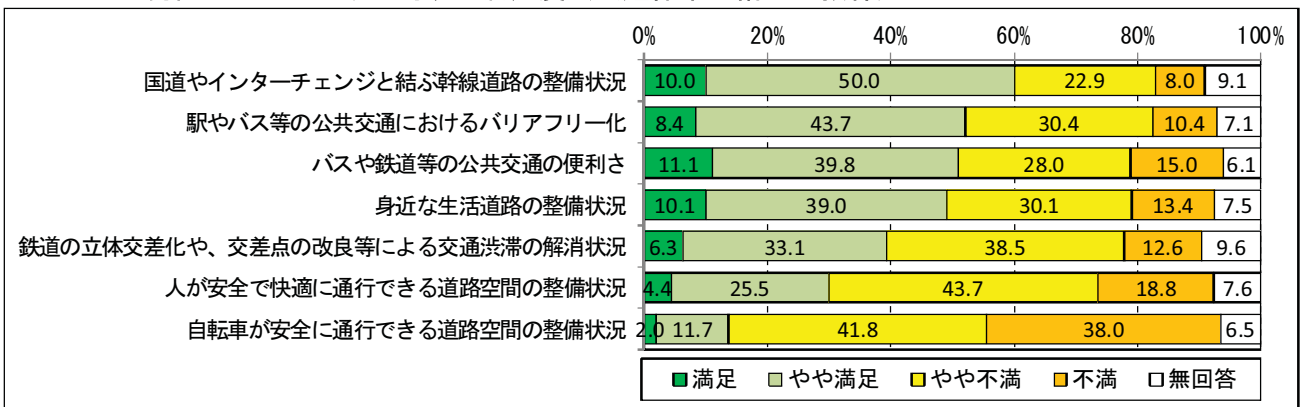
## (1) 八王子市都市計画マスタープランの改定に向けたまちづくりアンケート調査 (平成 24 年 9 月)

- ・対象者：市内在住の 18 歳以上の市民から 3,000 人無作為抽出
- ・収率：43.7% (回収数：1,310 票)

### ①現在のまちづくりに対する満足度

○まちづくりに対する評価は、「国道やインターチェンジと結ぶ幹線道路の整備状況」や「駅やバス等の公共交通におけるバリアフリー化」、「バスや鉄道等の公共交通の便利さ」に対する満足度が過半数を超え高く、「自転車が安全に通行できる道路空間の整備状況」は 28 項目の中で 13.7% と最も低い。

■現在のまちづくりに対する満足度 (交通体系整備のみ抜粋)



### (参考) 地域区分

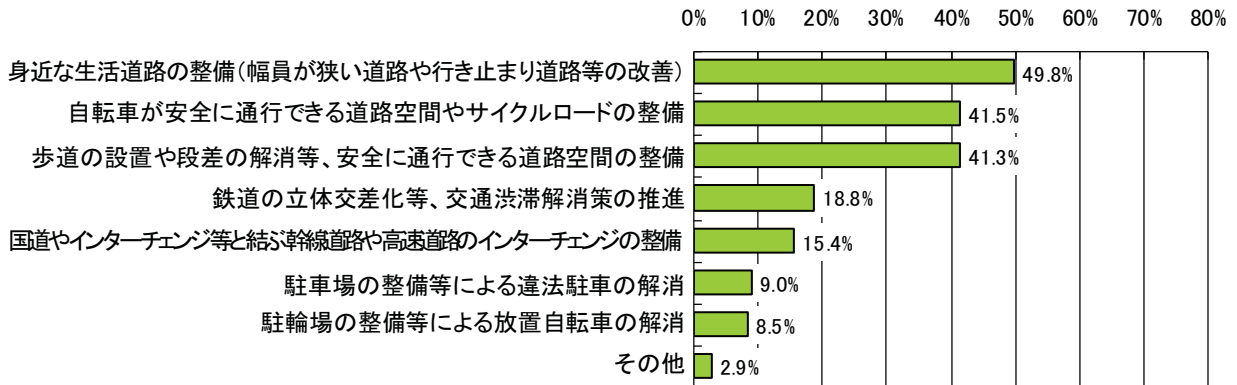


②交通体系整備に関するまちづくりの方向性

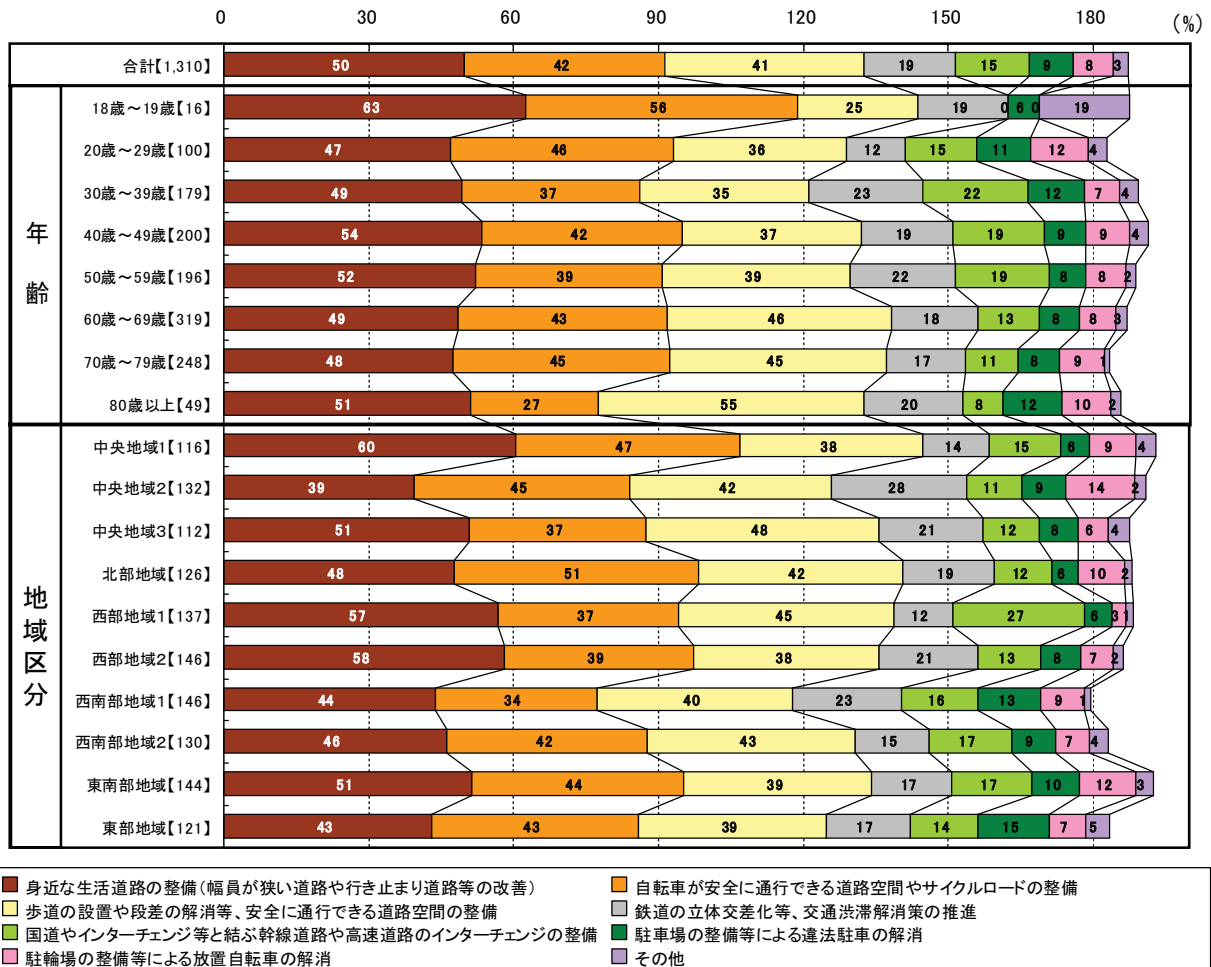
- 道路整備に関しては「身近な生活道路の整備（49.8%）」、「自転車が安全に通行できる道路空間やサイクルロードの整備（41.5%）」、「歩道の設置や段差の解消等、安全に通行できる道路空間の整備（41.3%）」が4割を超え多い。
- 中央地域2は、他地域に比べて「身近な生活道路の整備」を求める意見が少なく、「鉄道の立体交差化等による交通渋滞解消策の推進」が多くなっており、また、西部地域1では「幹線道路や高速道路のインターチェンジの整備」が多い。

■交通体系整備に関する方向性（2つまで選択）

N=1,310



■交通体系整備に関するまちづくりの方向性/クロス集計（×年齢・地域区分）



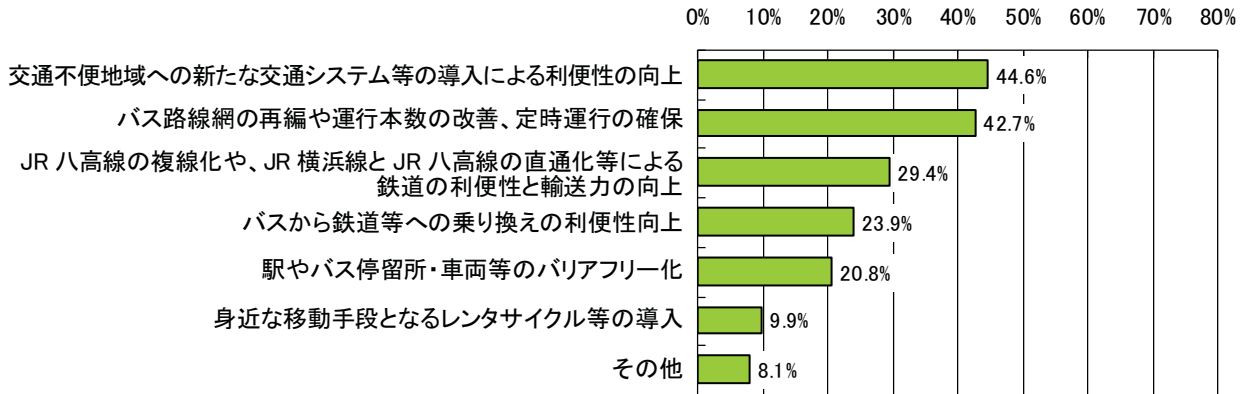
③交通環境の整備に関するまちづくりの方向性

○快適な交通環境の整備に向けては「交通不便地域への新たな交通システム等の導入による利便性の向上」や「バス路線網の再編や運行本数の改善、定時運行の確保」を求める意見が多く、特に西部地域1でそれぞれ58%、66%と多い。

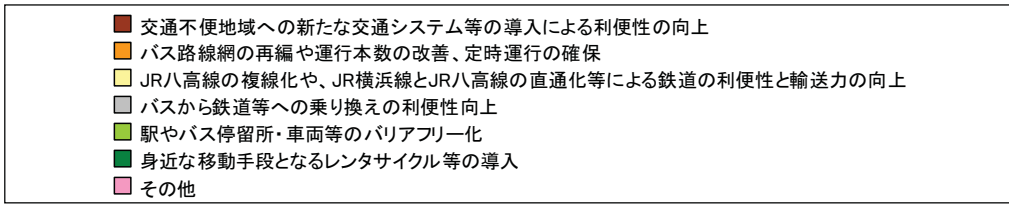
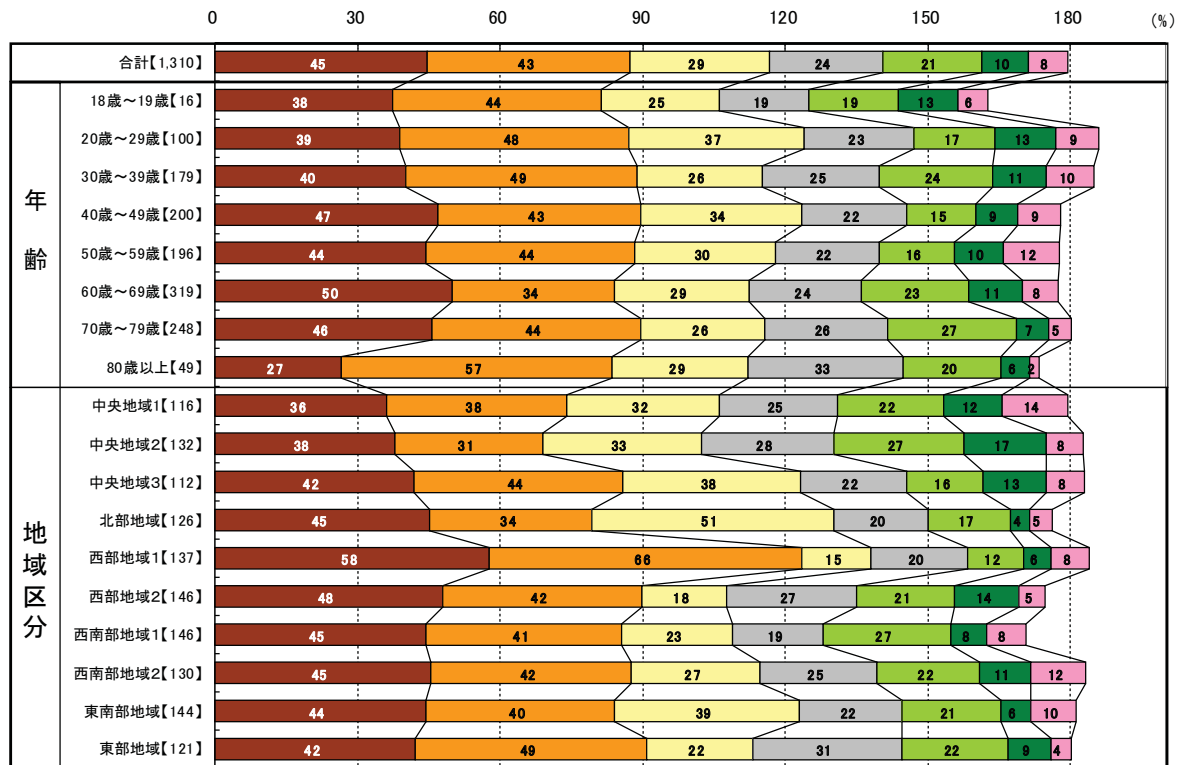
○北部地域では、「JR 八高線の複線化や、JR 横浜線と JR 八高線の直通化等による鉄道の利便性と輸送力の向上」を求める意見が多い。

■交通環境の整備に関するまちづくりの方向性（2つまで選択）

N=1,310



■交通環境の整備に関するまちづくりの方向性/クロス集計（×年齢・地域区分）



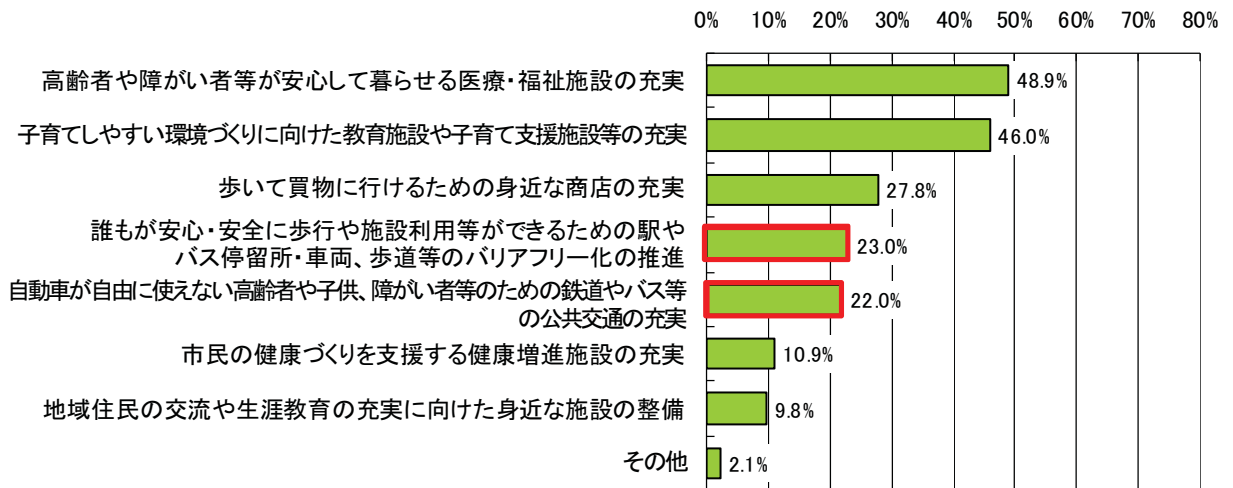
④少子・高齢社会に対応したまちづくりに向けた方向性

○少子・高齢社会に対応したまちづくりに向けて、「誰もが安心・安全に歩行や施設利用等ができるための駅やバス停留所・車両、歩道等のバリアフリー化の推進」と「自動車が自由に使えない高齢者や子供、障がい者等のための鉄道やバス等の公共交通の充実」がそれぞれ2割を占めている。

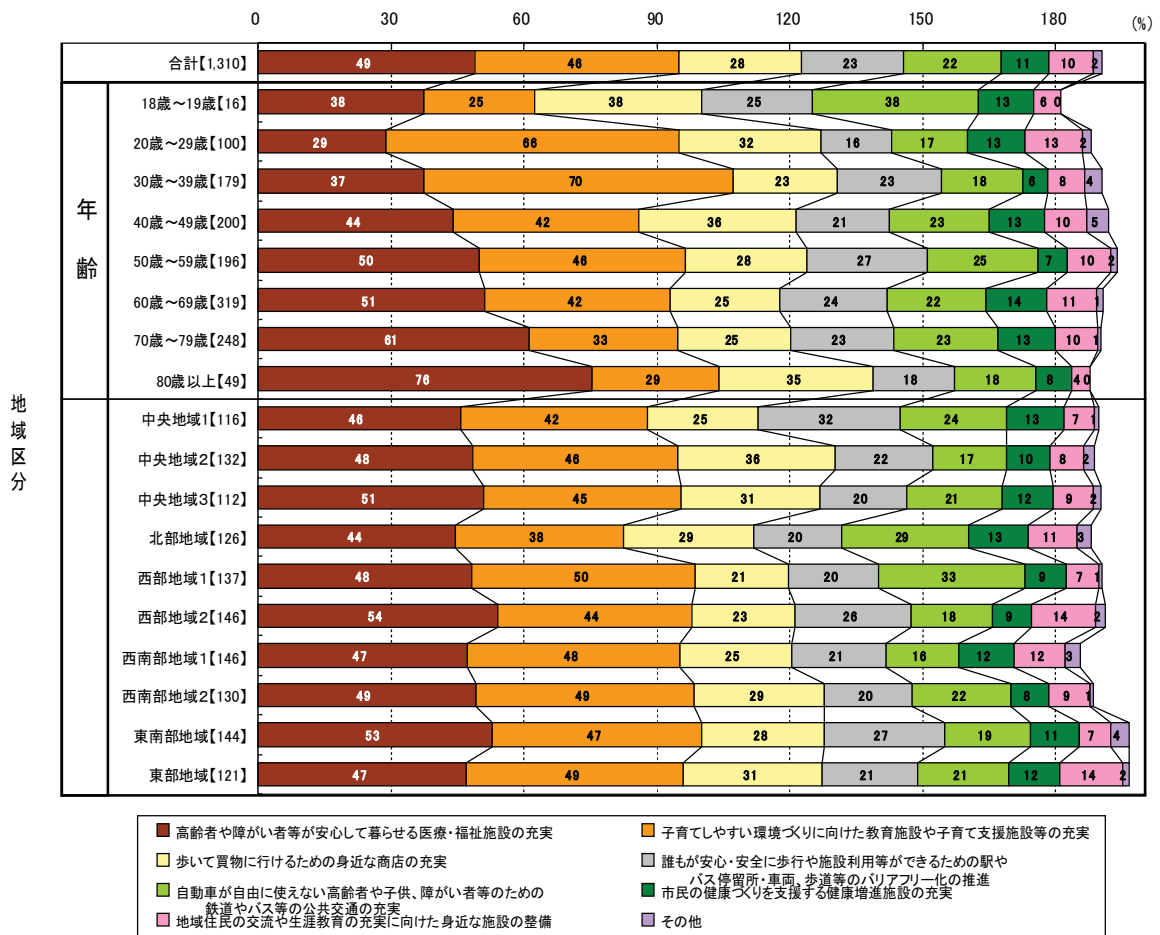
○「誰もが安心・安全に歩行や施設利用等ができるための駅やバス停留所・車両、歩道等のバリアフリー化の推進」は中央地域1で、「自動車が自由に使えない高齢者や子供、障がい者等のための鉄道やバス等の公共交通の充実」は西部地域1と北部地域で他地域に比べて多い。

■少子・高齢社会に対応したまちづくりに向けた方向性（2つまで選択）

N=1,310



■少子・高齢社会に対応したまちづくりに向けた方向性/クロス集計（×年齢・地域区分）

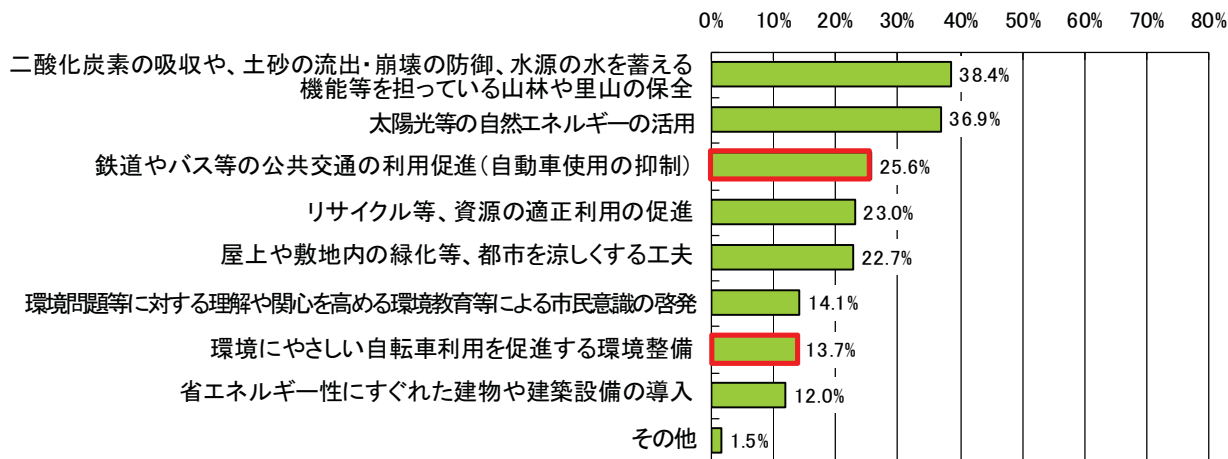


⑤都市環境整備に関するまちづくりの方向性

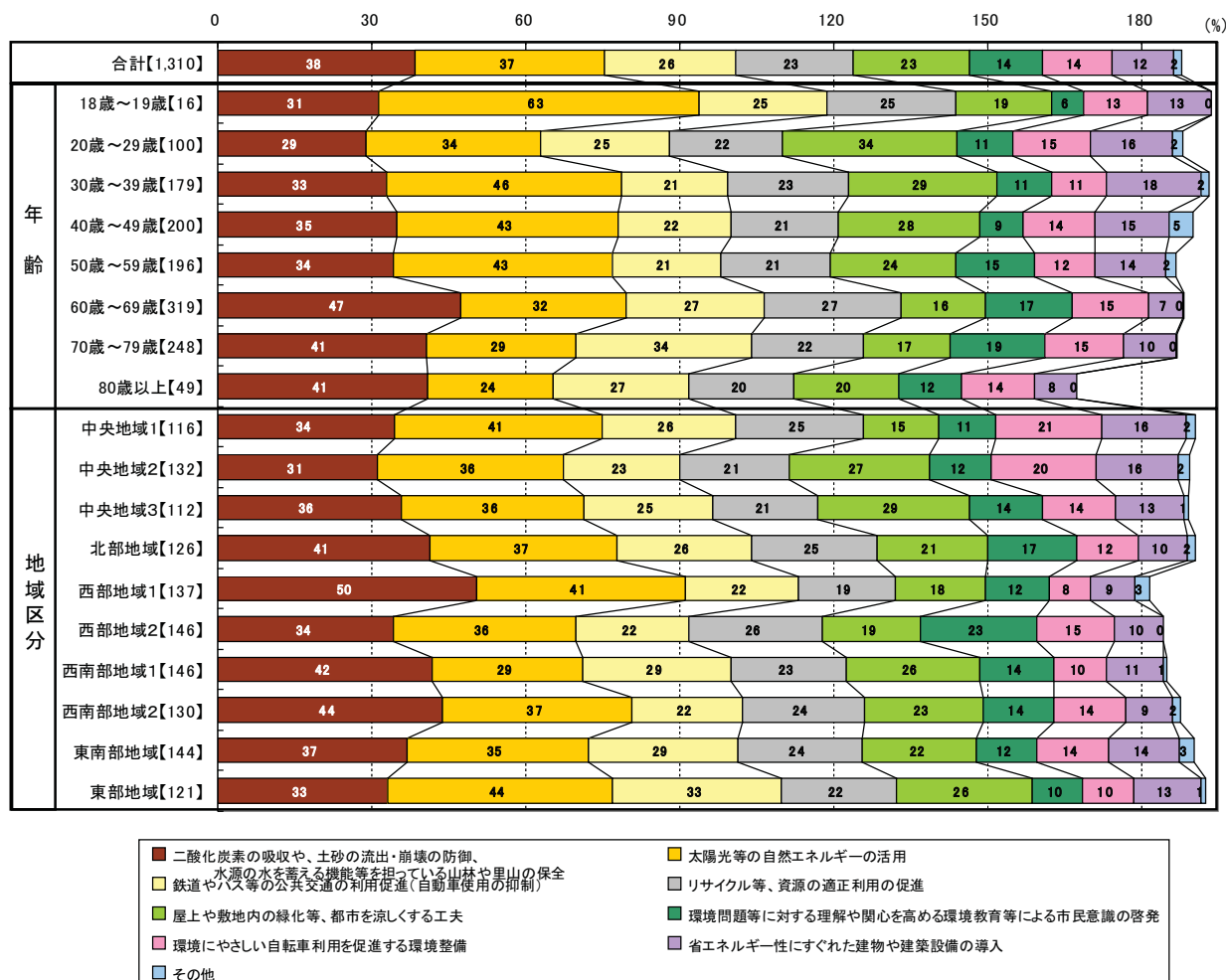
- 環境負荷の少ないまちづくりに向けて、「鉄道やバス等の公共交通の利用促進（自動車利用の抑制）」が25.6%、「環境にやさしい自転車利用を促進する環境整備」が13.7%を占めている。
- 「環境にやさしい自転車利用を促進する環境整備」は中央地域1と中央地域2で約2割と他地域に比べて多い。

■都市環境整備に関するまちづくりの方向性（2つまで選択）

N=1,310



■都市環境整備に関するまちづくりの方向性/クロス集計（×年齢・地域区分）



## (2) 八王子市民の定住意向に関するアンケート調査（平成 24 年 10 月）

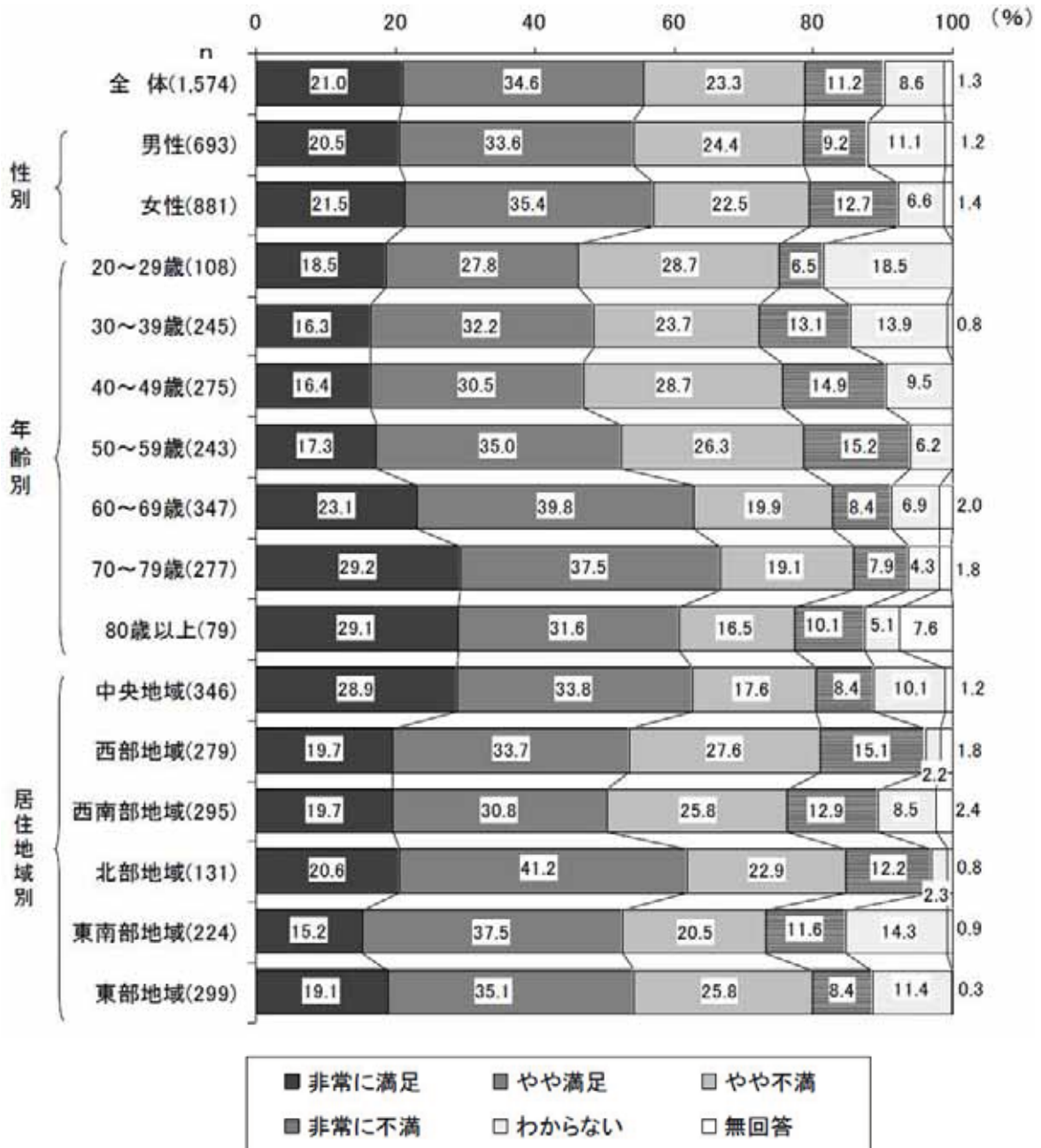
- ・対象者：市内在住の 20 歳以上の市民から 3,000 人無作為抽出
- ・回収率：52.5%（回収数：1,574 票）

### ①バスの利便性に対する満足度

○現在住まいの地域のバスの利便性は、満足（非常に満足＋やや満足）が 55.6%、不満（非常に不満＋やや不満）が 34.5%と満足している方の割合が高く、年齢別にみると、60 歳以上で満足が高い。

○居住地域別にみると、中央地域と北部地域で満足が、西部地域と西南部地域で不満が高い。

■バスの利便性に対する満足度

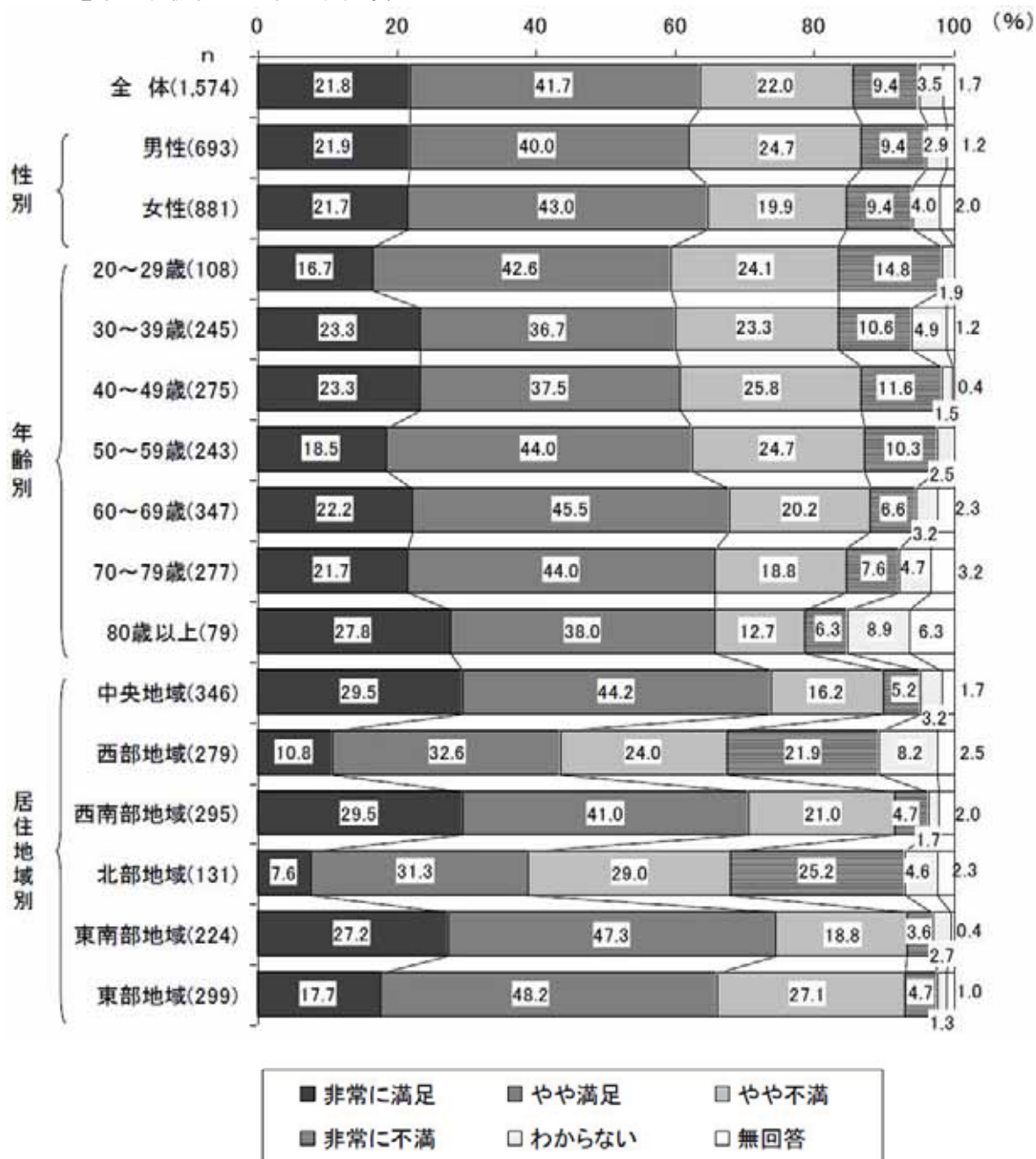


②電車の利便性に対する満足度

○電車の利便性は、満足（63.5%）、不満（31.4%）よりも高く、年齢別では全ての年齢層で満足が不満を上回るものの、20～59歳で不満が3割を超えている。

○居住地域別にみると、東南部地域と中央地域で満足が、北部地域と西部地域で不満が高い。

■電車の利便性に対する満足度

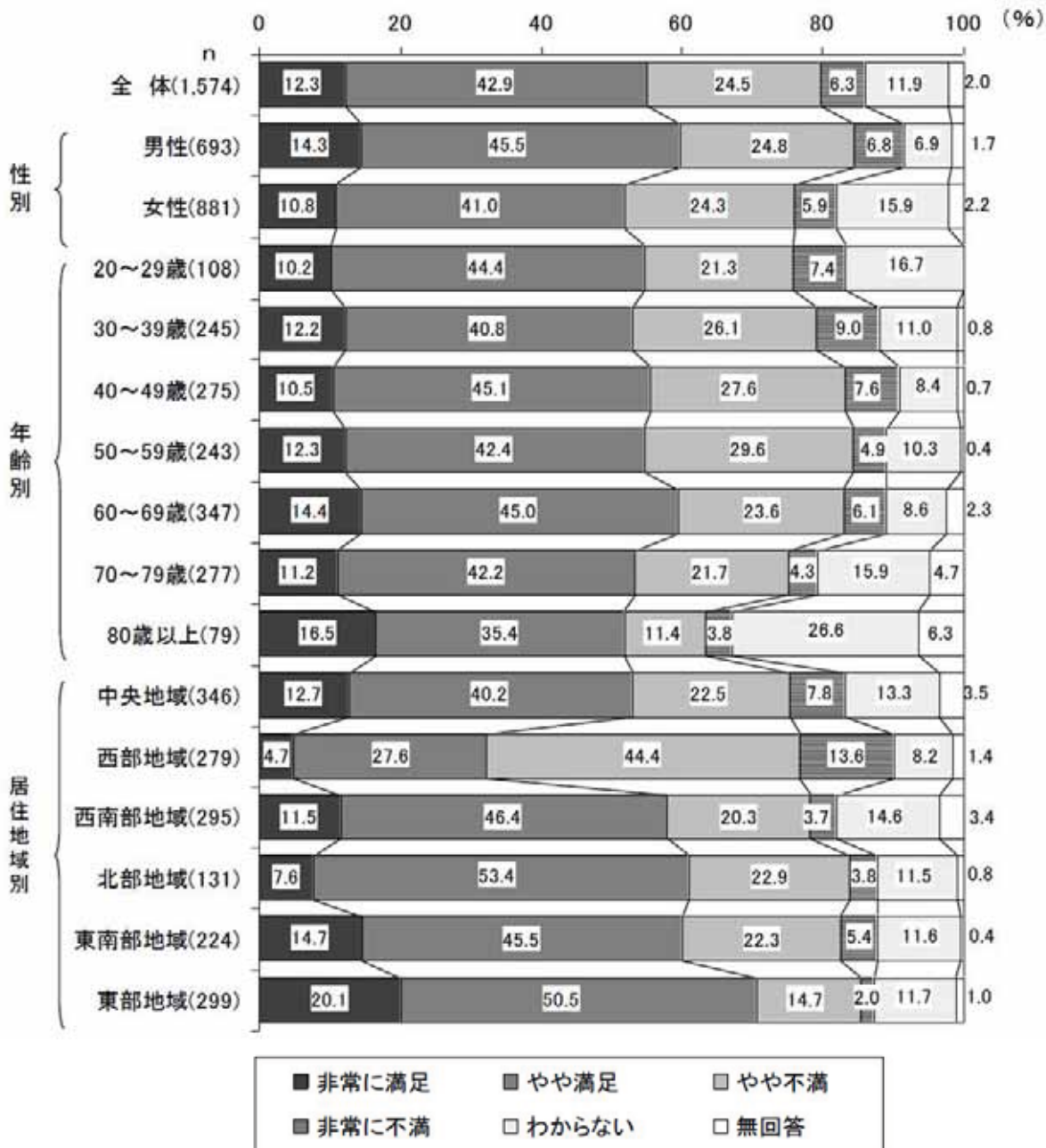


③車を利用する上での道路事情に対する満足度

○車を利用する上での道路事情は、満足（55.2%）、不満（30.8%）よりも高く、年齢別では全ての年齢層で満足が不満を上回るものの、30～39歳（35.1%）と40～49歳（35.2%）で不満が3割台半ばと他の年齢層に比べて多い。

○居住地域別にみると、西部地域で不満（58.0%）が満足（32.3%）を上回っている。

■車を利用する上での道路事情に対する満足度





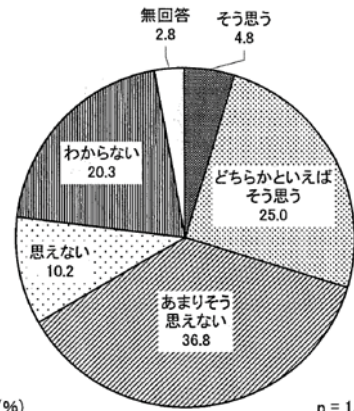
(3) 平成 25 年八王子市市政世論調査 (平成 25 年 月)

- ・対象者：市内在住の 20 歳以上の市民から 3,000 人無作為抽出
- ・回収率：59.2% (回収数：1,685 票)

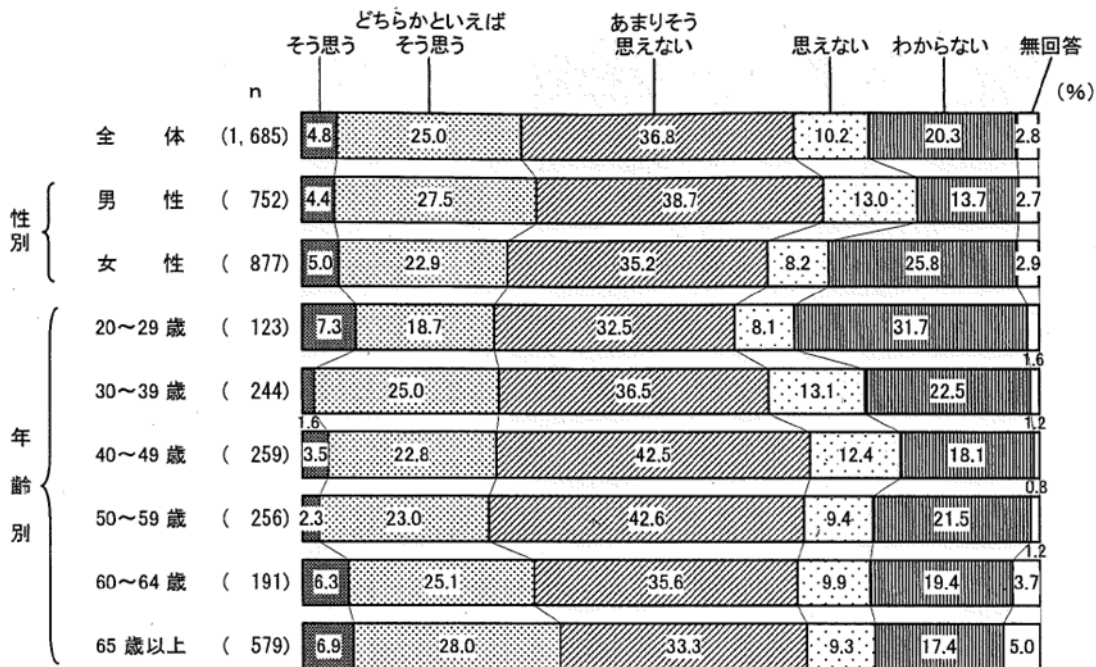
①市内の交通渋滞が緩和されていると思うか

- 内の交通渋滞が緩和されていると思うかは、「思えない」が 5 割弱で、「そう思う」が 3 割弱となっている。
- 年齢別にみると、「そう思う」は 65 歳以上で 3 割台半ばと高くなっている。
- 地域別にみると、「思えない」は西部地域で約 6 割と高くなっている。

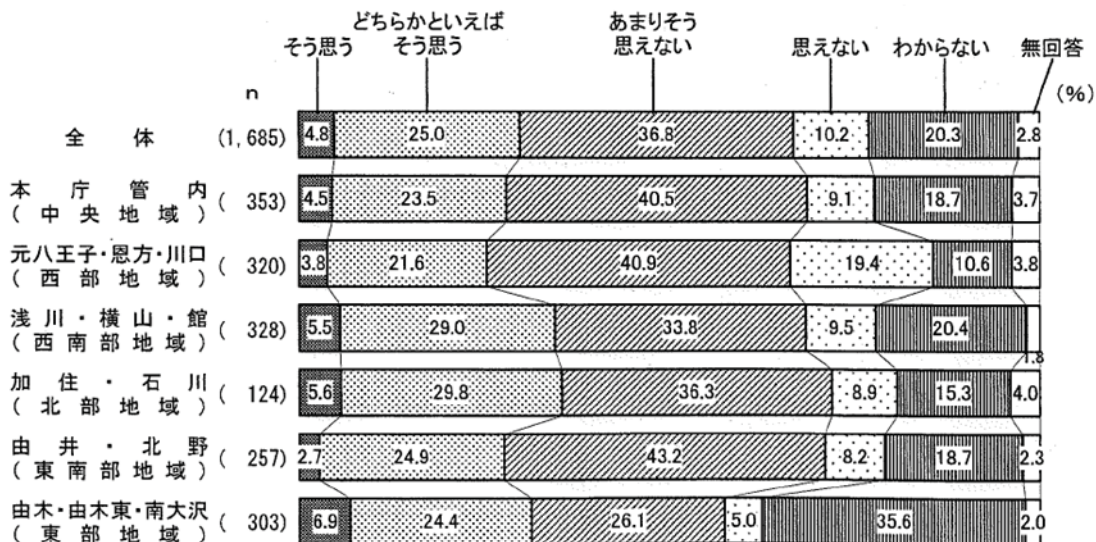
■市内の交通渋滞が緩和されていると思うか



■市内の交通渋滞が緩和されていると思うか/クロス集計 (×性別・年齢)



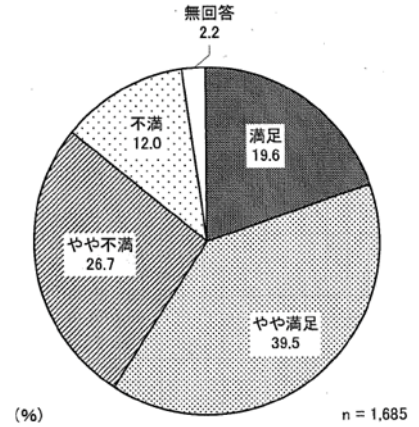
■市内の交通渋滞が緩和されていると思うか/クロス集計 (×地域区分)



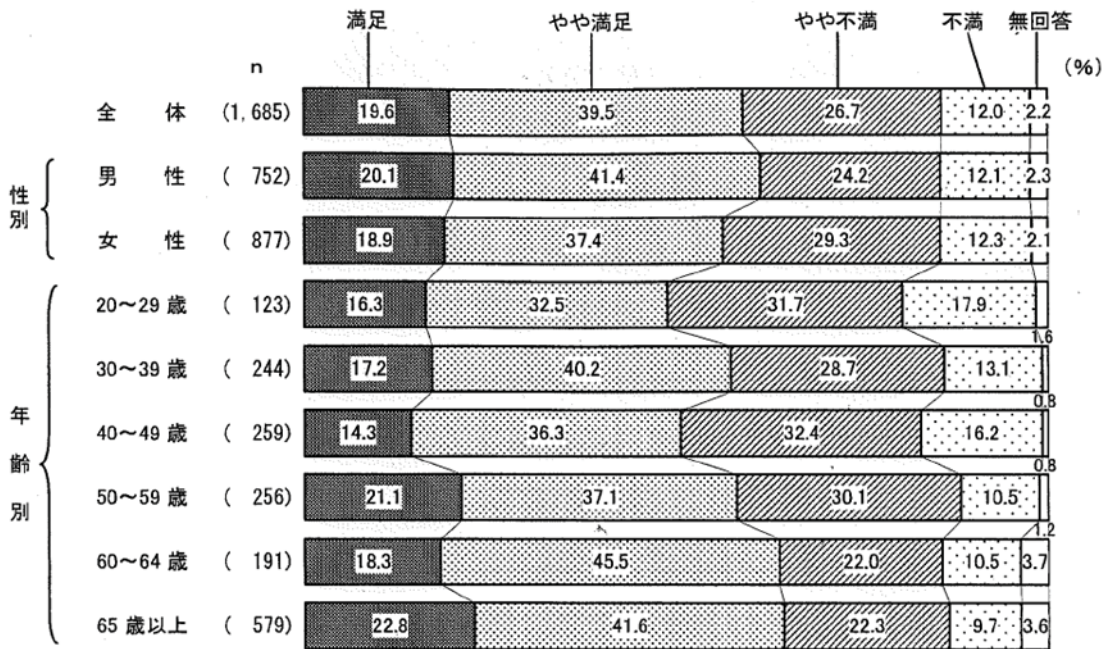
②公共交通機関の満足度

- 公共交通の利便性に満足しているかどうかは、「満足」が6割弱と高く、「不満」は4割弱となっている。
- 年齢別にみると、「満足」は65歳以上と60～64歳で6割台半ばと高くなっている。
- 地域別にみると、「満足」は中央地域で7割弱と高く、「不満」は西部地域で5割強と高くなっている。

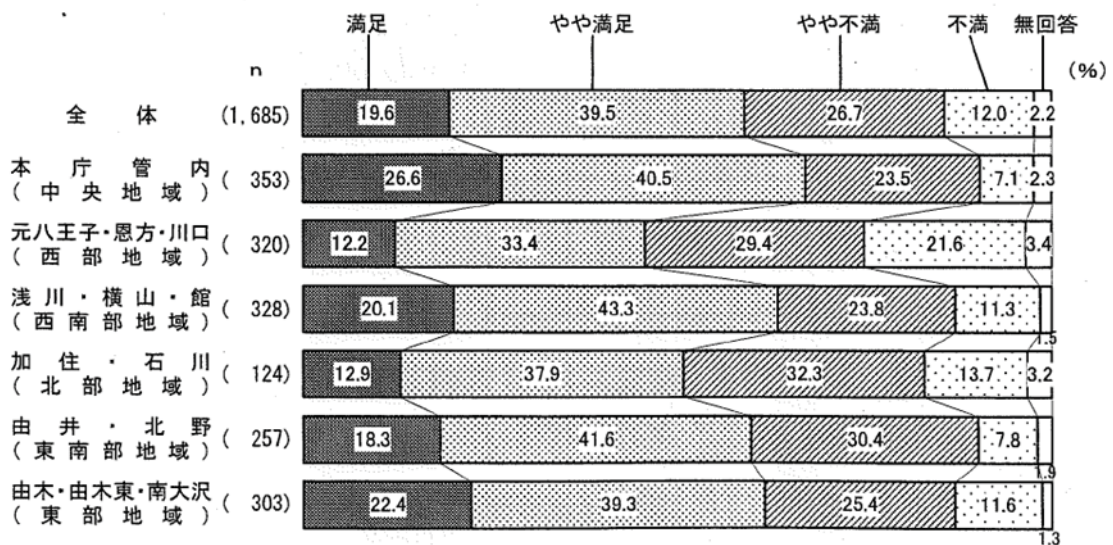
■公共交通機関の満足度



■公共交通機関の満足度/クロス集計 (×性別・年齢)



■公共交通機関の満足度/クロス集計 (×地域区分)



(4) 平成 23 年八王子市市政世論調査 (平成 23 年 5 月)

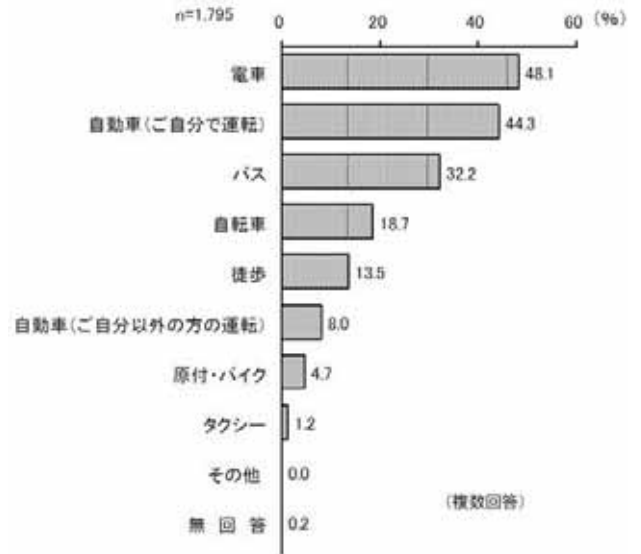
- ・対象者：市内在住の 20 歳以上の市民から 3,000 人無作為抽出
- ・回収率：59.8% (回収数：1,795 票)



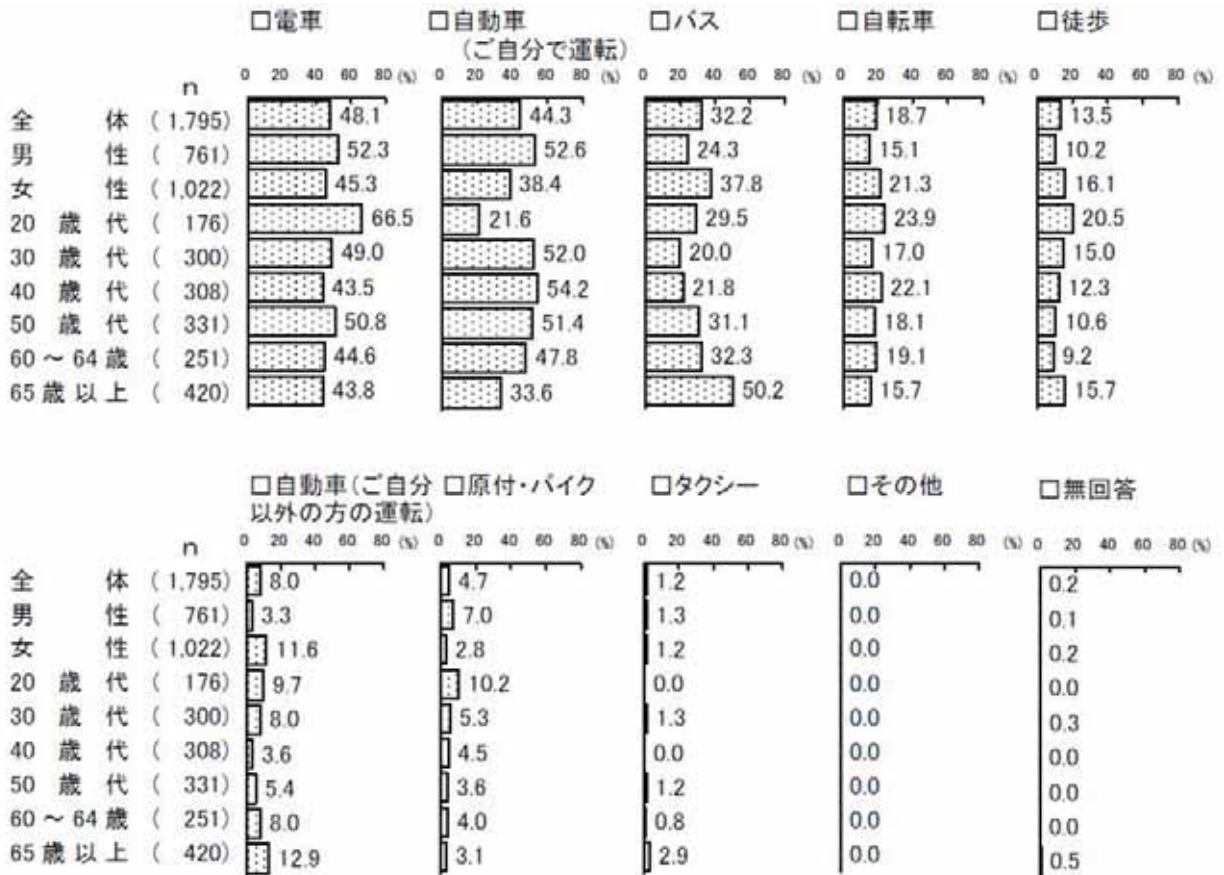
①日頃利用する交通手段

- 日頃利用する交通手段は、電車が 5 割弱と最も多く、次いで、自動車(自分で運転)、バス、自転車となっている。
- 年齢別にみると、自動車(自分で運転)は 30～50 歳代で 5 割を超えている反面、20 歳代が最も低く、バスは 65 歳以上でほぼ 5 割と高い。
- 地域別にみると、バスは西部地域と北部地域で 4 割を超え、他の地域と比べて高い。

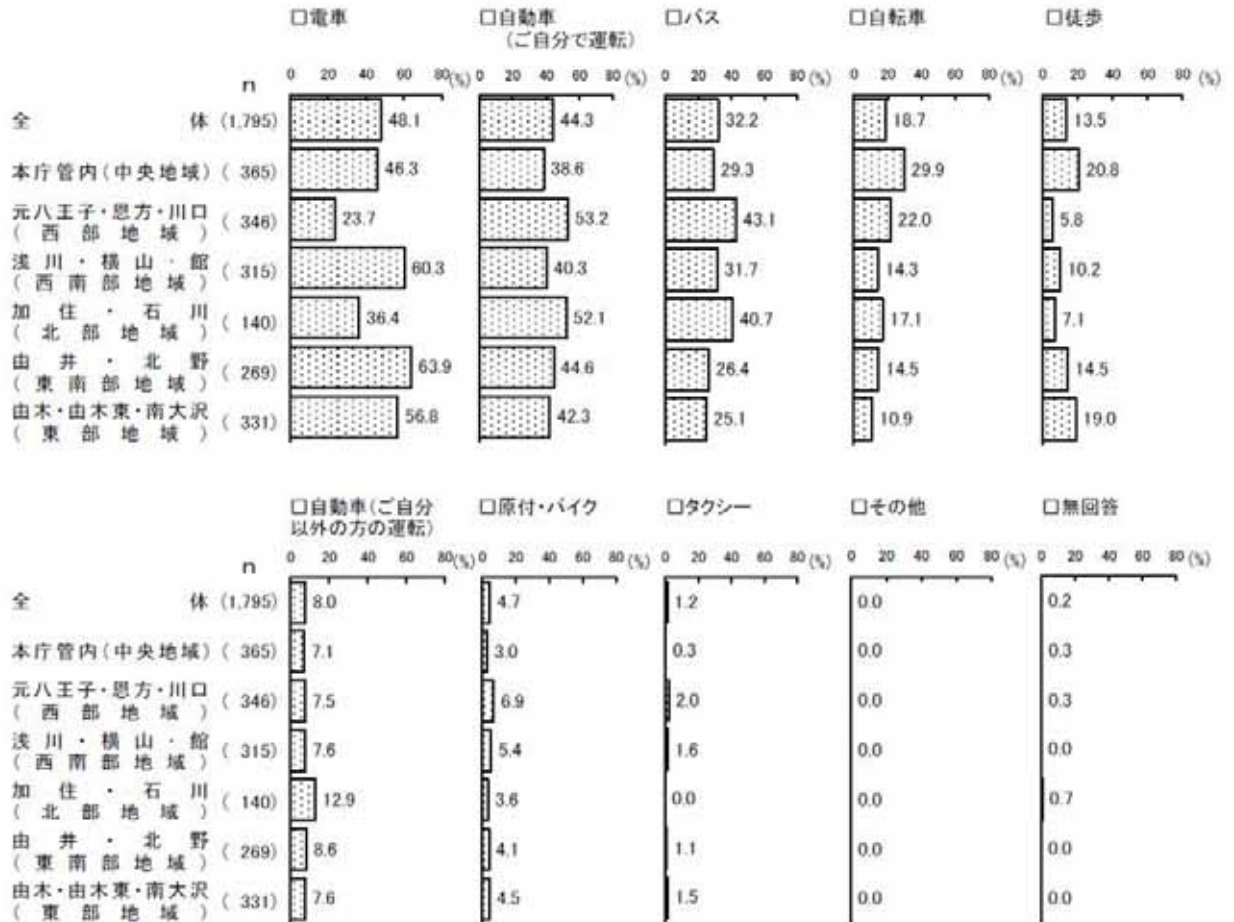
■日頃利用する交通手段



■日頃利用する交通手段/クロス集計 (×性別・年齢)



■日頃利用する交通手段/クロス集計（×地域区分）



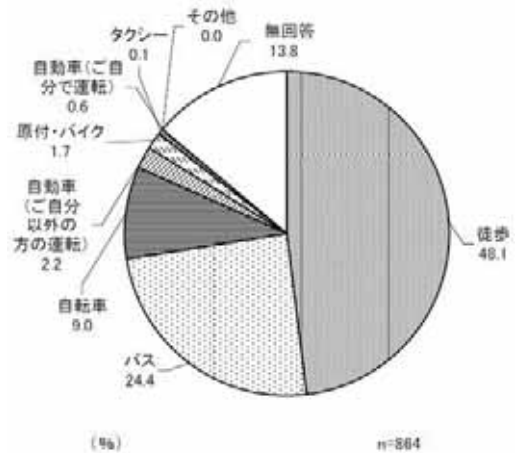
②駅までの主な交通手段（日頃利用する交通手段で「電車」と回答した方）

○駅までの交通手段は、徒歩が5割弱と最も多く、次いでバス、自転車となっている。

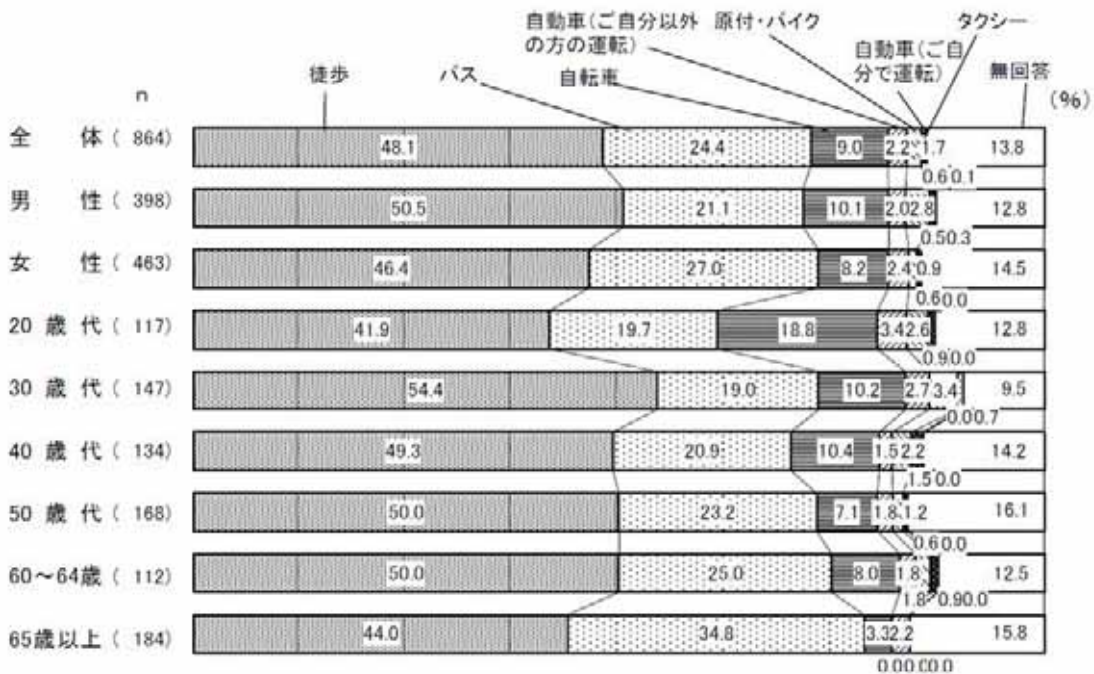
○年齢別にみると、バスは65歳以上で3割台半ば（34.8%）と、自転車は20歳代で2割弱（18.8%）と高い。

○地域別にみると、西南部地域、東南部地域、及び東部地域で徒歩が5割を超えているのに対し、西部地域でバスが6割強（63.4%）と高い。また、北部地域でもバス（41.2%）の方が徒歩（27.5%）よりも高い。

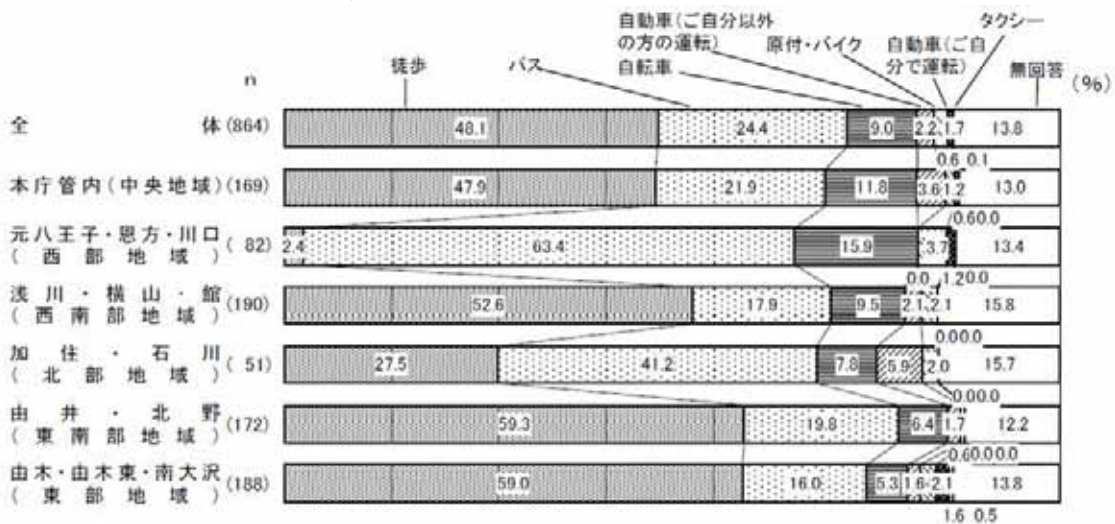
■駅までの主な交通手段



■駅までの主な交通手段/クロス集計（×性別・年齢）



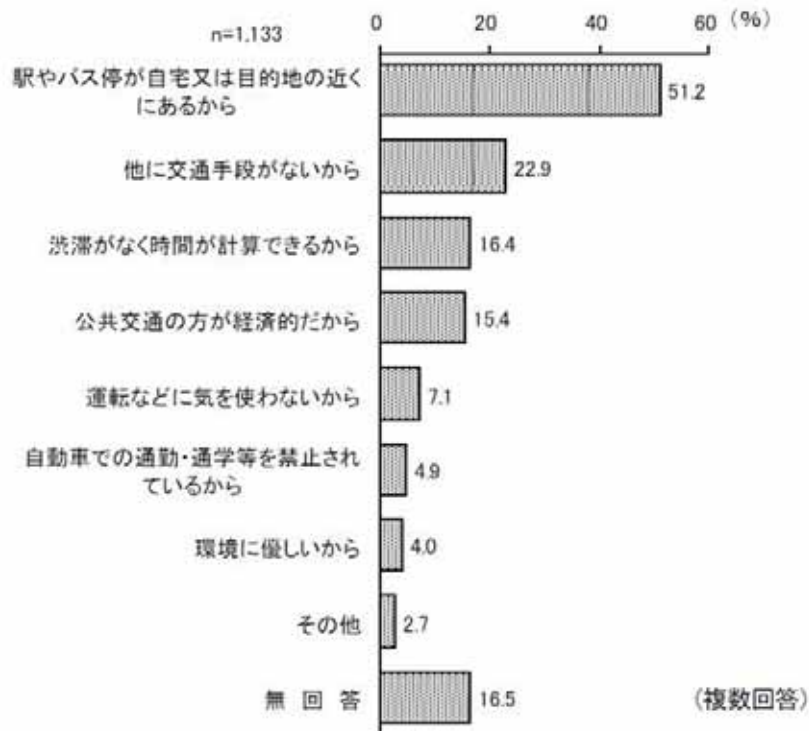
■駅までの主な交通手段/クロス集計（×地域区分）



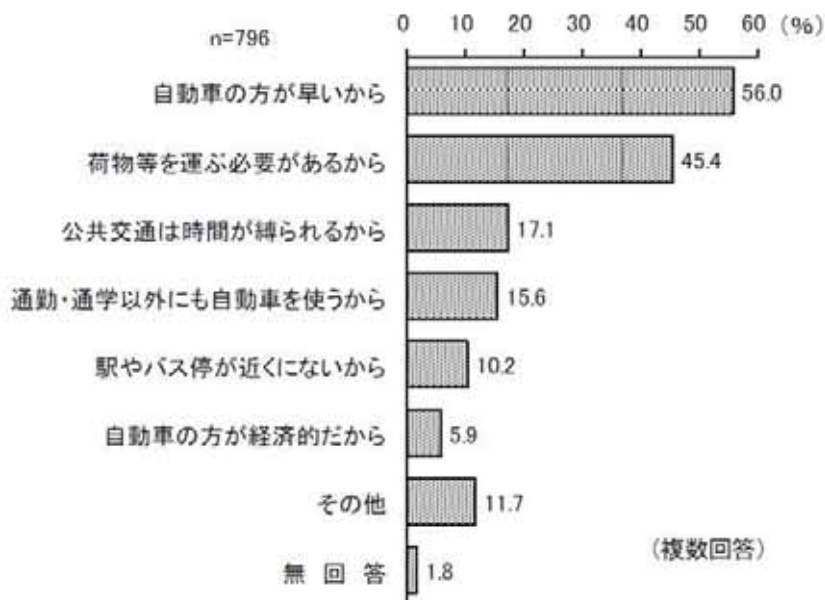
③電車・バスなどの公共交通機関や自動車（自分で運転）を利用する理由

○電車・バスなどの公共交通機関を利用する理由は、「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」が51.2%と最も高く、自動車（自分で運転）を利用する理由は「自動車の方が早いから」（56.0%）、「荷物等を運ぶ必要があるから」（45.4%）が高い。

■電車・バスなどの公共交通機関を利用する理由



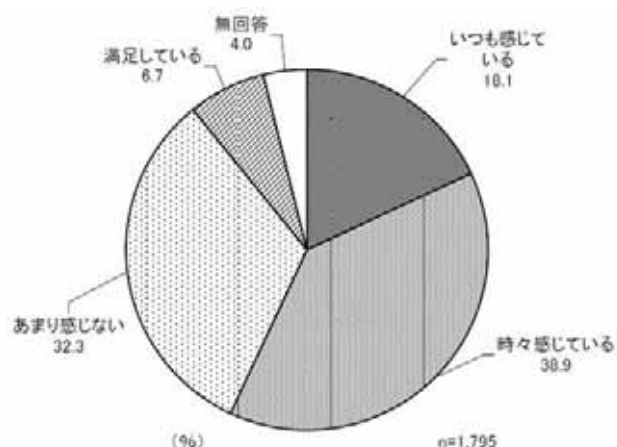
■自動車（自分で運転）を利用する理由



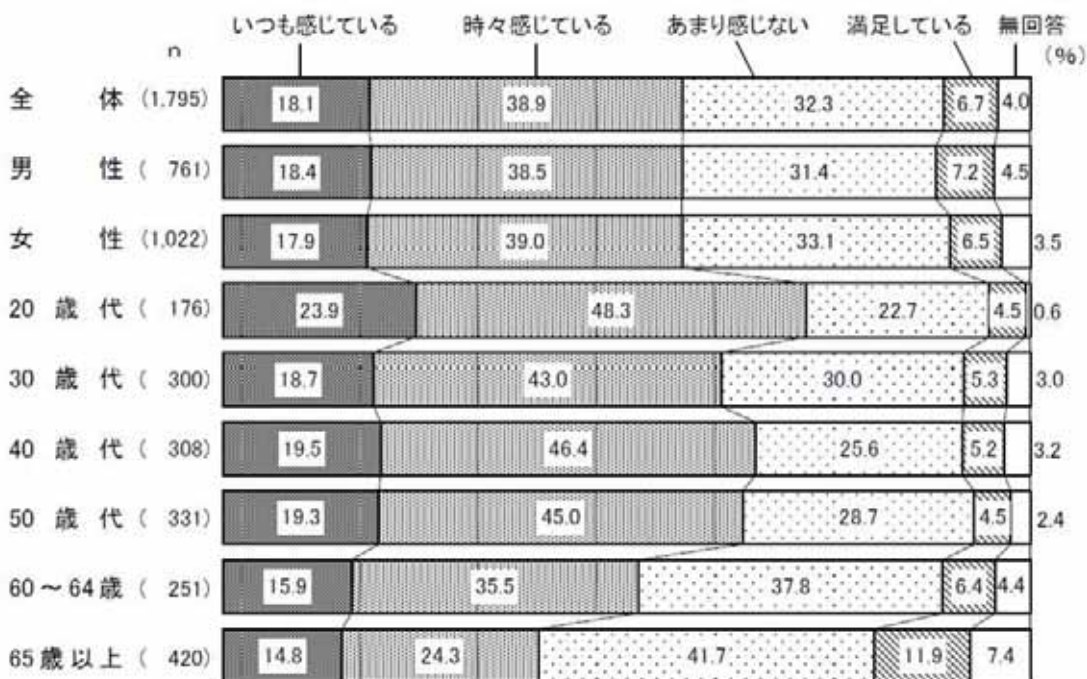
④交通手段を利用する場合、不満を感じるものの有無

- 交通手段を利用する場合、不満を感じるかどうかは、「いつも感じている」(18.1%)、「時々感じている」(38.9%)を合わせた「不満」と回答した方は6割弱(57.0%)となっている。
- 年齢別にみると、不満は50歳代以下で6割を超え、20歳代で7割強(71.6%)と最も高い。
- 地域別にみると、不満は西部地域(71.6%)と北部地域(66.5%)で高い。

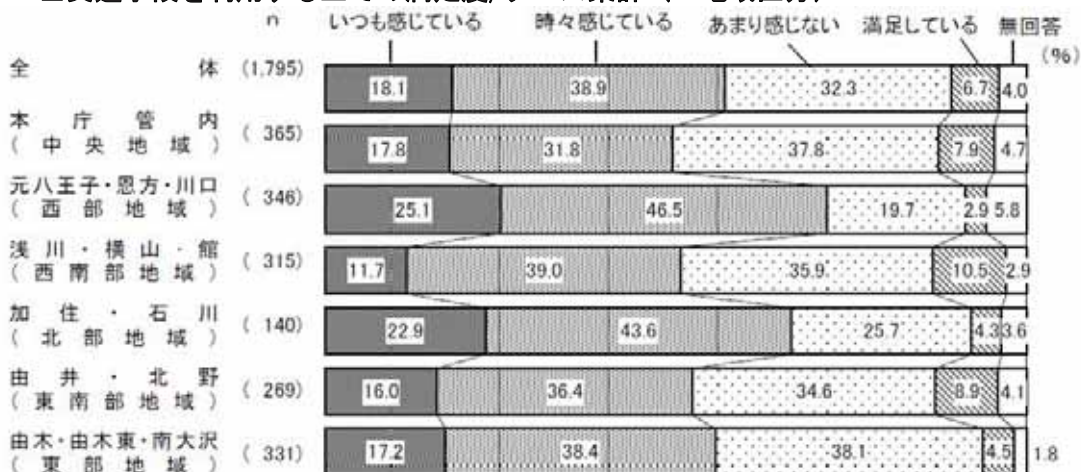
■交通手段を利用する場合、不満を感じるものの有無



■交通手段を利用する上での満足度/クロス集計 (×性別・年齢)



■交通手段を利用する上での満足度/クロス集計 (×地域区分)

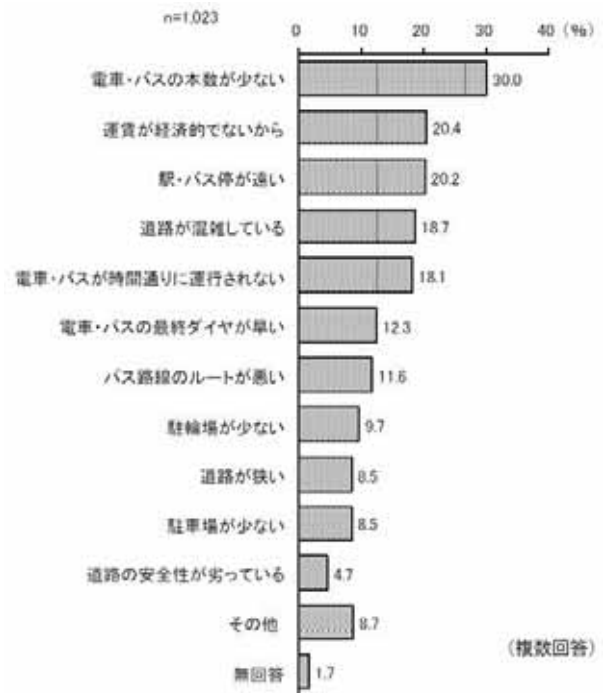


⑤交通手段利用時に不満を感じる理由（交通手段利用時に不満を感じていると回答した方のみ）

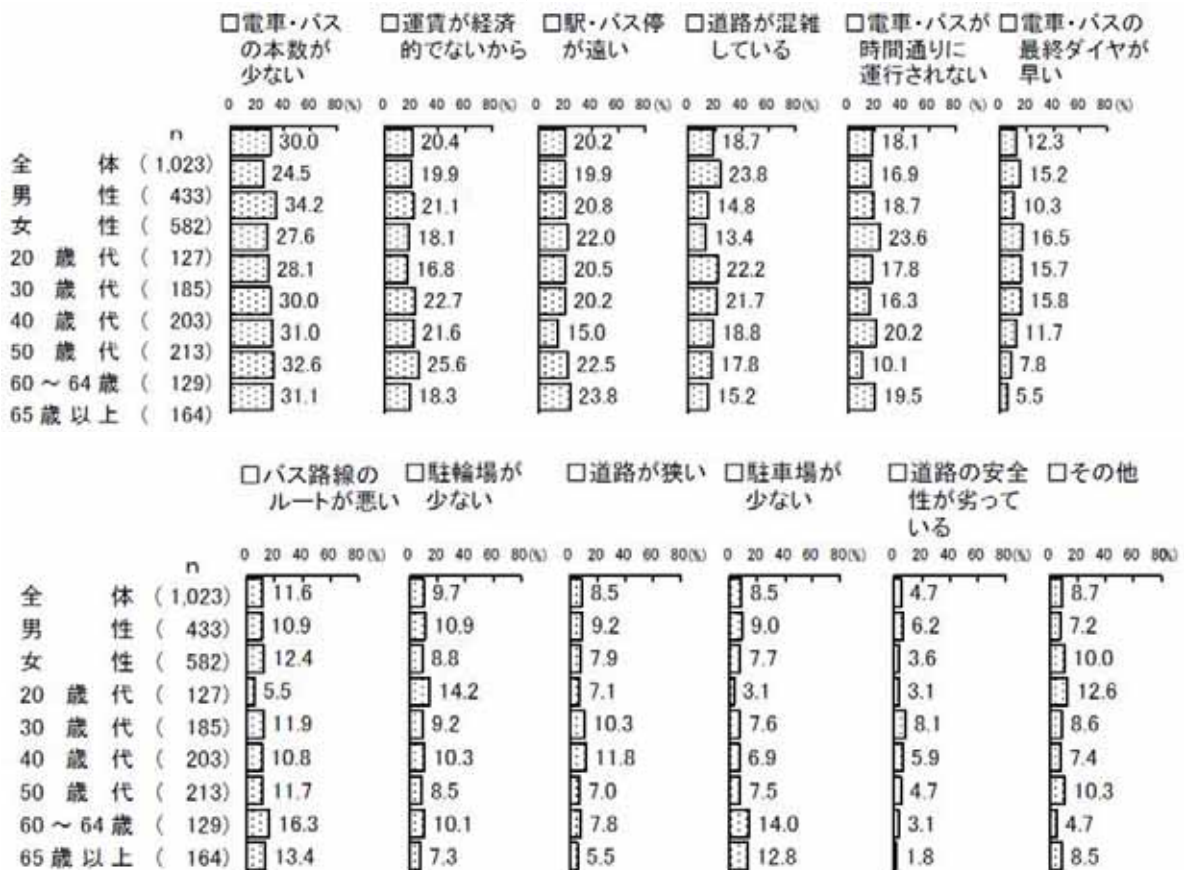
○交通手段利用時に不満を感じる理由は、「電車・バスの本数が少ない」が3割と最も高く、いずれの年齢で第1位となっている。

○地域別にみると、「電車・バスの本数が少ない」は北部地域、東南部地域、東部地域で市平均を上回っており、「道路が混雑している」は西部地域で3割強（31.5%）と高い。

■交通手段利用時に不満を感じる理由

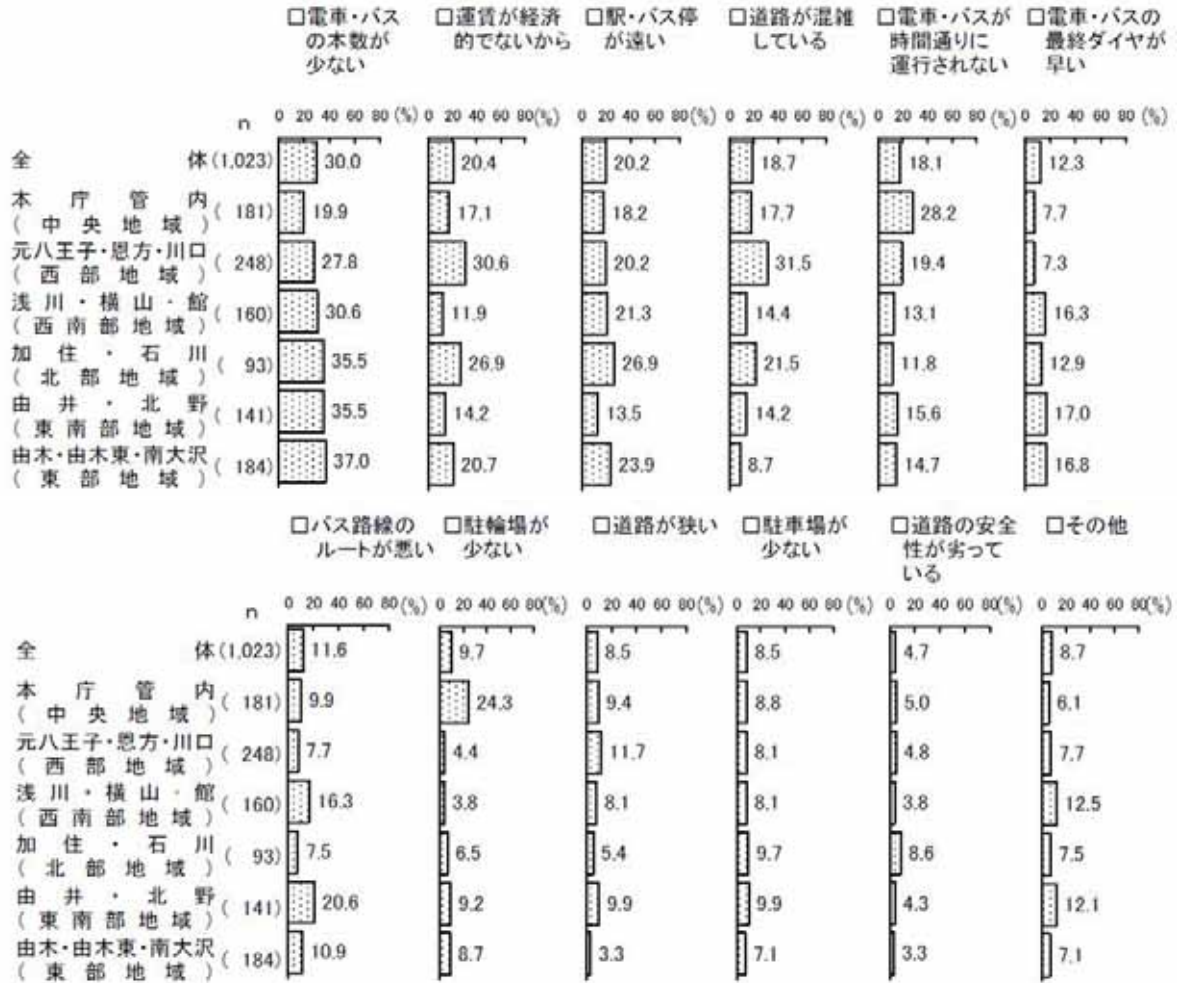


■交通手段利用時に不満を感じる理由/クロス集計（×性別・年齢）





■交通手段利用時に不満を感じる理由/クロス集計 (×地域区分)



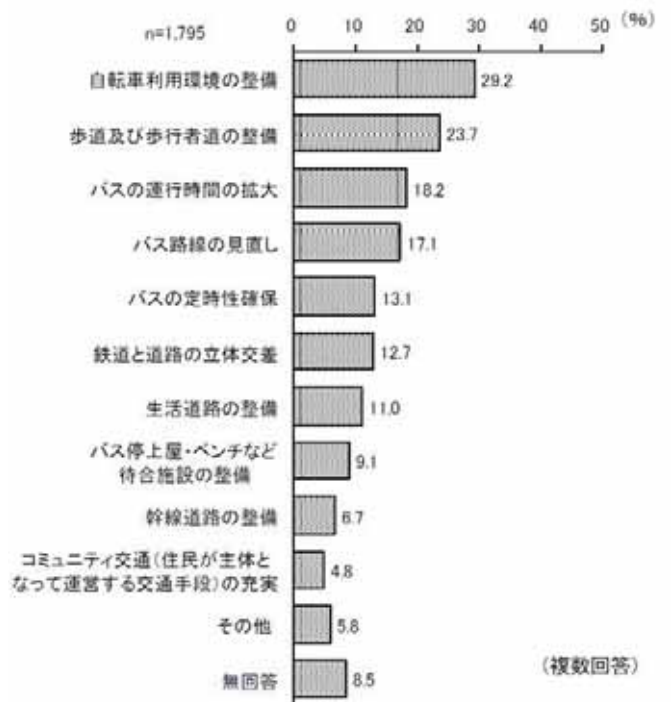
⑥今後の交通環境の整備で期待すること

○今後の交通環境の整備で期待することは、「自転車利用環境の整備」が29.2%と最も高く、次いで「歩道及び歩行者道の整備」(23.7%)、「バスの運行時間の拡大」(18.2%)、「バス路線の見直し」(17.1%)となっている。

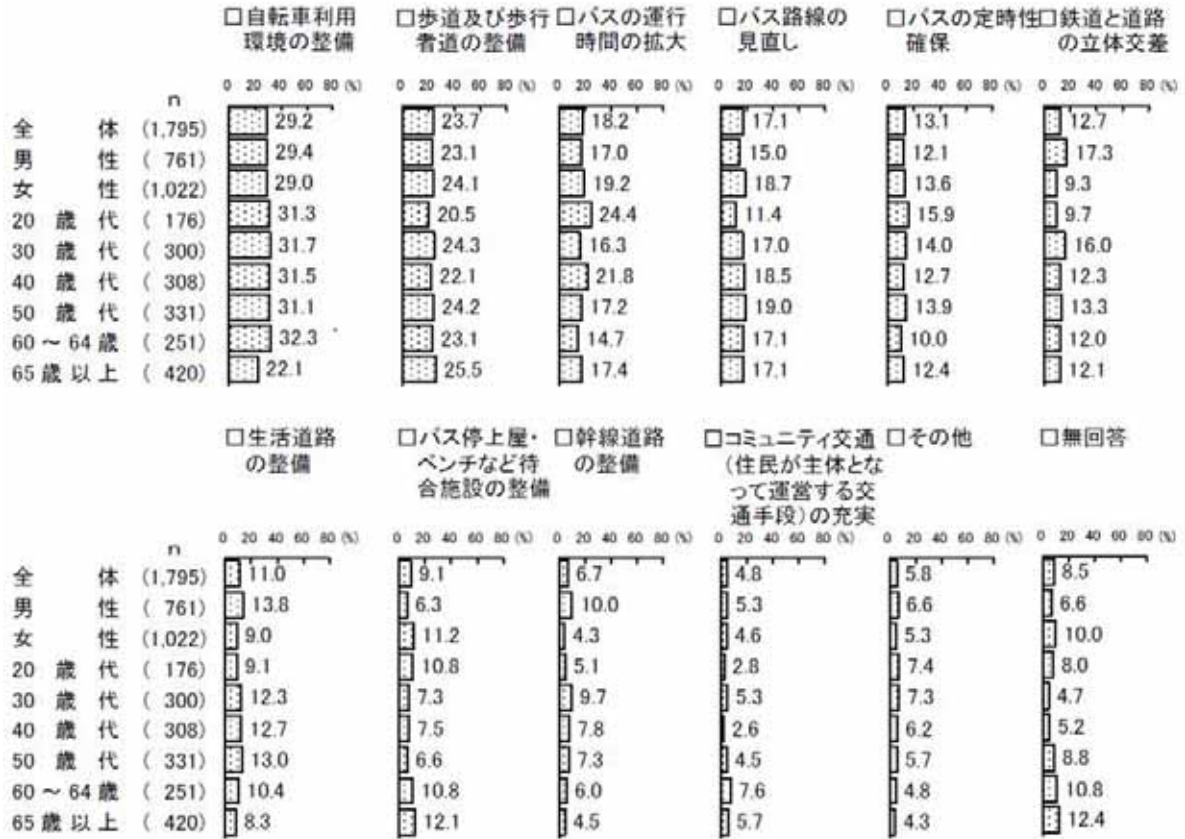
○年齢別にみると、「自転車利用環境の整備」は65歳以上を除いて3割を超え、「歩道及び歩行者道の整備」はいずれの年齢も2割を超えている。

○地域別にみると、「自転車利用環境の整備」は中央地域で4割台半ば(44.1%)と高い。

■今後の交通環境の整備で期待すること



■今後の交通環境の整備で期待すること/クロス集計 (×性別・年齢)



■今後の交通環境の整備で期待すること/クロス集計 (×地域区分)

